HID=N1105DD10MPDAX17
ID=M121105DOMD10-MPD---DS20BN0--N17

セカンドライフ
題字・有森裕子さん直筆
～丈夫な体でゆとりの生活。もう一丁「夢」叶えてみませんか～

日本有数の洞窟群がある新見市で1日1組限定の古民家民宿経営

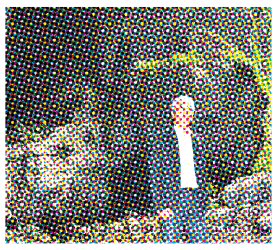
テーマ
岡山移住
鈴木夫妻
章弘さん（54）
晴子さん（47）

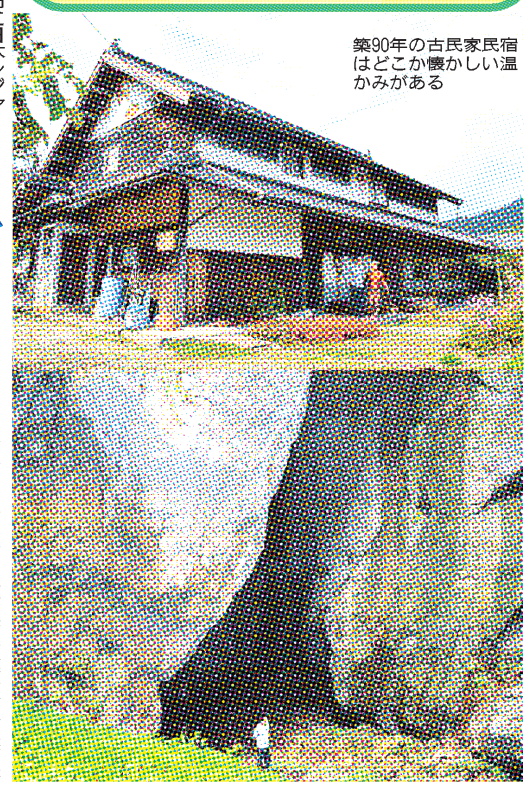
岡山県新見市に日本レジャー産業に一石を投じている夫妻を見つけた。静岡県出身の鈴木章弘さん（54）、広島県出身の晴子さん（47）は鳥取県に近い同市の里山で古民家民宿「千屋アウトドアハウス」を営んでいる。章弘さんが豪華なホテルやゴルフ場が繁栄したバブル期レジャー産業の在り方に疑問を感じ、地域のオリジナリティーを生かした素朴で温かみがある宿の経営に乗り出した。その挑戦はまだ道半ばだというが、夫妻の生活には充実感があふれていた。

熱いチャレンジ精神

柔和な笑顔の奥にチャレンジャーの顔が隠れていた。いろりの向こうで晴子さんと談笑する姿からは想像もできないが、章弘さんは胸の中に熱いチャレンジスピリットを秘めている。記者は話を聞くにつれ、強くそう思うようになった。

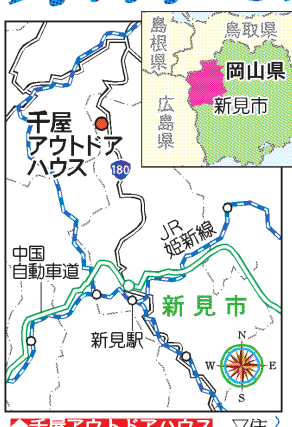
築90年の古民家を改修した民宿こそがチャレンジ魂の象徴だ。玄関には「おかえりなさい、千屋へ」と書いた色紙がさりげなく置いてあり、座敷へ上がるといろり、高い天井、黒光りする太い柱と梁。そのすべてが疲れた心と体を程よく癒してくれる。旅人はここへ来てよかったと思うはずだ。


阿哲台の洞窟入り口を歩く松本記者


築90年の古民家民宿はどこか懐かしい温かみがある

素朴な田舎の魅力を自然体で提供

仲睦まじく会話をする鈴木さん夫妻＝岡山県新見市千屋花見の古民家民宿「千屋アウトドアハウス」 ㊧阿哲台にはこのように大きな洞窟がある



◆千屋アウトドアハウス ▽住所 〒718-0104岡山県新見市千屋花見1005▽☎0867・77・2272▽宿泊料金 １日１組限定で10人まで。原則２人以上。１泊２食付き大人8400円、子供（４歳～小学生）5250円。ただし土曜、連休、ＧＷ、お盆、年末年始期間の２人利用は大人10500円▽交通 車は中国道新見インターから国道180号線を米子方面へ30分。鉄道はＪＲ伯備線・新見駅下車。新見駅からは新見千屋温泉行き備北バスで終点・新見千屋温泉下車。新見駅から約50分。

◆岡山県移住の問い合わせ先 岡山県県民生活部中山間・地域振興課☎086・226・7267 ＦＡＸ086・224・6195 Ｅ―mail uij@pref.okayama.lg.jp

趣味が縁引き寄せた

移住先に新見を選んだのは大学時代からの趣味である洞窟探検が縁を引き寄せた。洞窟を通じて知り合った同市の知人に紹介を受けたのがきっかけ。新見市中南部に広がる全国有数のカルスト台地・阿哲台には大小200近い洞窟がある。章弘さんは大学2年の時に探検したことがあり「一回新見の洞窟を探検したことがあったし、宿をやるなら洞窟探検のように他にない何かがあった方がいいと。うちは基本は宿ですが、今は希望の方だけ洞窟体験を案内しています」。現在は洞窟体験の拠点の宿としても知られるようになった。実際に記者も章弘さんの案内で洞窟を見に行ったが、冒険心をかき立てられるような雰囲気に興奮を抑えきれなかった。

本格的なオープンまでは時間がかかった。空き古民家探しに1年かかり、借りられるまでにさらに1年余り。95年にようやく開業にこぎつけたが、地元の会社に勤めながらの仮オープンだった。転機は05年、別の旅行代理店に勤務していた晴子さんとの結婚。翌06年には民宿経営に専念した。「結婚が決まってからはそういう（宿の女将になる）気持ちだったし、旅行会社にいたので違和感なく来られました」と晴子さん。章弘さんが新見に来てから14年目の春だった。

今後は地域と共生を

宿の自慢は数々あるが、いろり端で食べる夕食は、有名な千屋牛と地元野菜の炭火焼き、郷土料理で味もボリュームも十分。食後はアルコールのグラスを傾けるもよし、自然の中でぐっすり眠るもよし。時は是夫妻もその輪に入り、楽しい会話を弾ませる。宿の評判は口コミやインターネットで広がり、リピーター率は約8割。章弘さんが目指した田舎のよさを生かした素朴な宿は目下絶好調で、今後はさらなる地域との共生を目指すという。

「バブル期とは形こそ違え、今も金太郎アメ的なレジャーが氾濫している。この宿ではそういうレジャーとは一線を画したい。自然体をキーワードに地域のオリジナリティーを最大限生かし、地道に地域の方々と共生していきたいですね」

章弘さんは最近、新見のユニークな飲食店や名所を案内する手作りのマップを作った。有名な観光地ではなくとも、訪れた旅行者が喜んでくれ、リピーターになってくれるような魅力ある田舎にしたい。記者はその熱い言葉を聞いて、いつかまたここに来て、ファイティングポーズを取り続ける章弘さんに会いたいと思った。（松本一之）

素朴な田舎の魅力を自然体で提供

としみじみ思うに違いない。宿泊は1日1組限定の貸切制。宿のムードもシステムも章弘さんが目指した宿の在り方を具体化したものだ。

章弘さんは静岡県浜松市出身で大阪の大手旅行代理店に11年間勤めた後、1992年に新しいレジャー産業の構築を胸に脱サラ。「当時はバブル期で日本のレジャーは豪華なリゾートホテルやゴルフ場が繁栄し、日本全国の観光地は金太郎アメのようにどこも同じ状況で、僕は田舎のよさを生かした素朴なレジャーを手がけたいと思ったわけです」。懐かしそうに当時の決断を振り返る。

お金

消費税アップ前の駆け込みで焦って家を買う必要なし

荻原博子
年金氷河期を生き抜くマネー防衛術

消費税が上がるなら、その前に家を買おうという人が増えているようで、そうした相談も多いです。

けれど、ちょっと待ってください。消費税は家の土地部分の価格にはかかりません。例えば3000万円のマンションで土地価格1500万円、建物価格1500万円なら建物価格の1500万円に、現行だと5％の消費税がかかります。つまり75万円ということです。消費税は2014年4月に8％、15年10月に10％になります。ですから前述の物件の場合、8％になると今より45万円、10％だと75万円のアップです。

確かに、この差は大きいですが、それよりも大きいのは、不動産価格の下落。不動産経済研究所によれば、9月の首都圏の分譲マンション価格は、平均4120万円で前年同月比3・4％の下落。1年間で平均価格が約130万円も下がった要因は、景気の低迷で消費者の購買力が落ちているからなのだそうです。

不動産は、需要と供給の関係で価格が決まります。来年後半くらいから「消費税が上がる前に買っておこう」という駆け込み需要が起きて購買意欲が盛り上がれば、当然ながら業者も強気になって価格も上がるでしょう。けれど、そこで需要の先食いをしてしまう確率は高い。

そうなると、消費税値上げ後に購入希望者が減って、市場が急速に冷え込む可能性があります。

不動産価格は需要と供給の関係で決まるので、市場が冷え込むと物件価格は下がります。業者が値引きしてでも売ろうとするからです。マンションなどで価格を下げて売るとなれば、100万円、200万円の値引きは日常茶飯事。だとすれば焦って無理なローンを抱えるより、まずはしっかり頭金作りに専念すべきでしょう！

（経済ジャーナリスト）

荻原 博子 長野県出身。明大卒。難しい経済と複雑なお金の仕組みを分かりやすく解説。テレビのコメンテーターとしても活躍中。著書多数。

健康

渡邉真由美 熟年健康講座

食道がん（下）

超早期なら内視鏡による治療で完治も

食道がん。予後が良くないがんとしても知られています。「当院で食道がんと診断されたケースの約半数は手術不能、つまり進行していて転移もあり、手術できない状態、というのが現状です」と語るのは、東京大学医学系研究科 消化器外科学／代謝内分泌外科学 瀬戸泰之教授。「その背景には食道がんの特徴として早い段階で転移を起こしやすいことや、食道が首、胸、腹部の3つの領域にまたがるため、広範囲に転移しやすく転移の方向も予測しにくいということが挙げられます」（瀬戸教授）。

手術不能の場合は、放射線治療や化学療法、あるいはその併用での治療が行われますが、進行度（ステージ）でいえばⅣ。5年生存率は20％程度です。

早期で見つかれば、内視鏡での治療が可能。「０期という最も早期の段階であれば内視鏡で画像を見ながら患部を切除するだけですみ、5年生存率は90％以上といわれています。開胸の必要がないので体への負担も少なくてすみます」（瀬戸教授）。

Ⅰ期以降では手術が検討されますが、治癒切除（目に見えるがんはすべて取り除くこと）ができれば5年生存率は62・5％程度（ⅡA期の場合。東大病院実績による）。手術不能の場合よりも予後はかなり良好です。

現在、東大病院では手術ロボット「ダヴィンチ」による食道がん手術が臨床研究として症例を限り行われています。「食道は心臓や大動脈など重要な臓器や器官に囲まれているので、手術に高度な技術が求められます。しかしダヴィンチは人の手が入りにくい部位も遠隔操作で細かい操作が可能になるなど、飛躍的に技術のレベルを高めることができます」（瀬戸教授）。今後の展開に期待が持たれます。

（医学ライター）

渡邉真由美 日本メディカルライター協会会員。群馬県出身。東京外大卒。シニアのＱＯＬ向上を主テーマに雑誌、ＷＥＢなどで活躍中。

◆テーマ募集中 みなさんが取り上げてほしいテーマを募集します。Ｅ―mailで「tokyo-hodo@daily.co.jp」までどしどしお寄せください。

〈紙面編集〉中野 和敬

「男のエステ」技術体験実施中！ 梅田店 06-6311-0821
天王寺店 06-6624-4320 なんば店 06-6636-7551【その他店舗はフリーダイヤルから】0120-552-011
www.dandy-house.co.jp www.ddy.jp ダンディハウス 検索
ソワンエステティック協会が認証した、「五つ星」の品質を兼ね備えたサロンでみなさまをお迎えいたします。 ※一部店舗除く
ダンディハウスはISO9001（国際品質保証規格）のマネージメントシステムを全店に導入。エステティックサービスの品質向上のために最善を尽くしています。（JQA-QMA11609）※一部店舗除く
顧客満足ランキング メンズエステ総合

神戸文学館 田辺聖子展
おせいさんの神戸交遊録
入場無料
協力：田辺聖子文学館

2012年 9月21日（金）～12月25日（火）
田辺聖子は、1964年に『感傷旅行（センチメンタル・ジャーニイ）』で芥川賞を受賞し、以来、単行本だけでも250点を超える膨大な作品を世に送り出してきました。小説をはじめ、エッセイ・評伝・古典案内など創作は多岐にわたり、「生きることの楽しさと人間のおもしろさ」を追求し続ける日本を代表する作家です。
1966年に結婚、約10年間を神戸で過ごしました。本格的、かつ旺盛な作家活動を繰り広げたのがこの時期でした。本展では田辺聖子と神戸の関わりや、神戸で出会った人々を通して築き上げられた“おせいさんの世界”をご紹介します。
記念講演
10月20日（土）午後2時～3時半 満席になり受け付けを終了しました
「弟が見た楽天少女」 講師：田辺 聰（㈱田辺企画社長）
11月10日（土）午後2時～3時半 満席になり受け付けを終了しました
「綴った女性への応援歌」 講師：住友元美（田辺聖子文学館学芸員）
参加料：200円 定員：50名 参加申込み・問い合わせ：神戸文学館 ☎078（882）2028
神戸文学館

■開館時間：平日 午前10時～午後6時
土・日・祝日 午前９時～午後5時
■休 館 日：毎週水曜日（休日の場合は翌日）
■交通案内
阪急電鉄：王子公園駅から西へ約500m
ＪＲ ：灘駅から北西へ約600m
阪神電車：岩屋駅から北西へ約850m
市バス ：王子動物園前から西へ約200m
〒657-0838 神戸市灘区王子町3丁目1-2（王子動物園西隣、関西学院の元チャペル）TEL・FAX078-882-2028 Mail:kobebungakukan@river.ocn.ne.jp
展示内容
自筆原稿（『新源氏物語』『言い寄る』ほか）、愛蔵品〔神戸まつりで着た衣裳、バッグ、ミニチュアの靴、手づくりの箱、自筆イラストほか〕、写真、ポスター（『芋たこなんきん』『ジョゼと虎と魚たち』）、色紙、自著（約50点）、そして、おせいさんの男と女と人生のアフォリズム（箴言）など